Panasonic

SmartArchi
Line Wallwasher

施工説明書
取扱説明書
保管用

(一般屋内用)

品番 FYY24040（単体用） FYY24041（連結中用）
FYY24042（連結右用）FYY24043（連結左用）

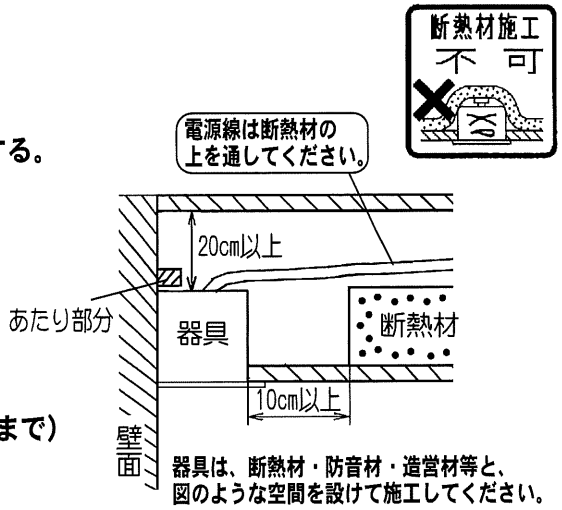
・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明 **工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

⚠警告

●**施工は、取付方法にしたがい確実に行う。**
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。
●**器具を改造しない。**
火災・感電・落下の原因となります。
●**必ず表示された定格電圧(100-242V)・周波数(50または60Hz)で使用する。**
火災・感電の原因となります。
●**断熱材、防音材をかぶせて使用しない。**
火災の原因となります。
●**この器具は、壁面沿いの水平な天井埋込専用器具です。**
壁面や傾斜天井への取付はしない。
落下の原因となります。
●**端子台の許容送り容量は12Aです。送り容量を超えて接続しない。**
(電源線の接続可能台数は、100Vの場合18台まで、200Vの場合36台まで)
火災・感電の原因となります。
●**接地工事（D種接地工事）を確実に行う。**
火災・感電の原因となります。
●**壁面には器具天面のあたり部分を設ける。**
器具の落下、傾き、すき間の原因となります。



器具は、断熱材・防音材・造営材等と、図のような空間を設けて施工してください。

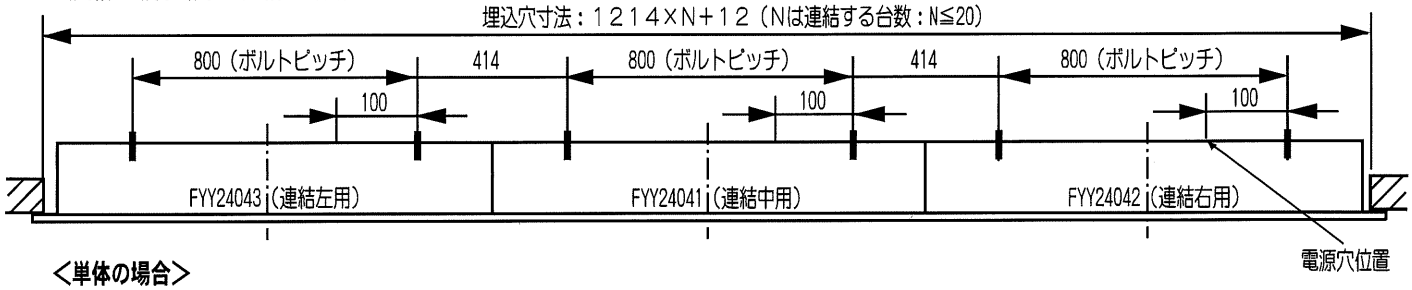
⚠注意

●**直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。**火災・感電・落下の原因となります。
●**周囲温度は、5～35℃以内で使用してください。**
火災・チラツキ・短寿命の原因となります。

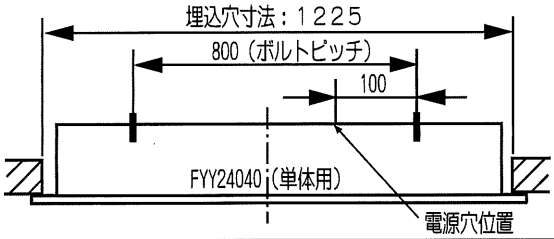
取付寸法

※連結台数は20台までとしてください。
20台を超えて連結すると、埋込穴の収まりに不備が出る場合があります。

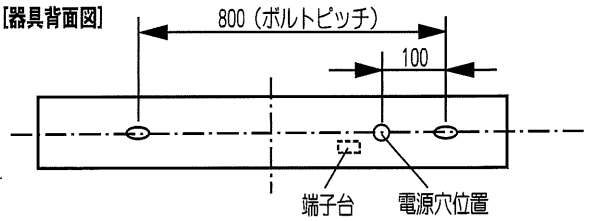
<連結の場合（図は3連結の場合）>



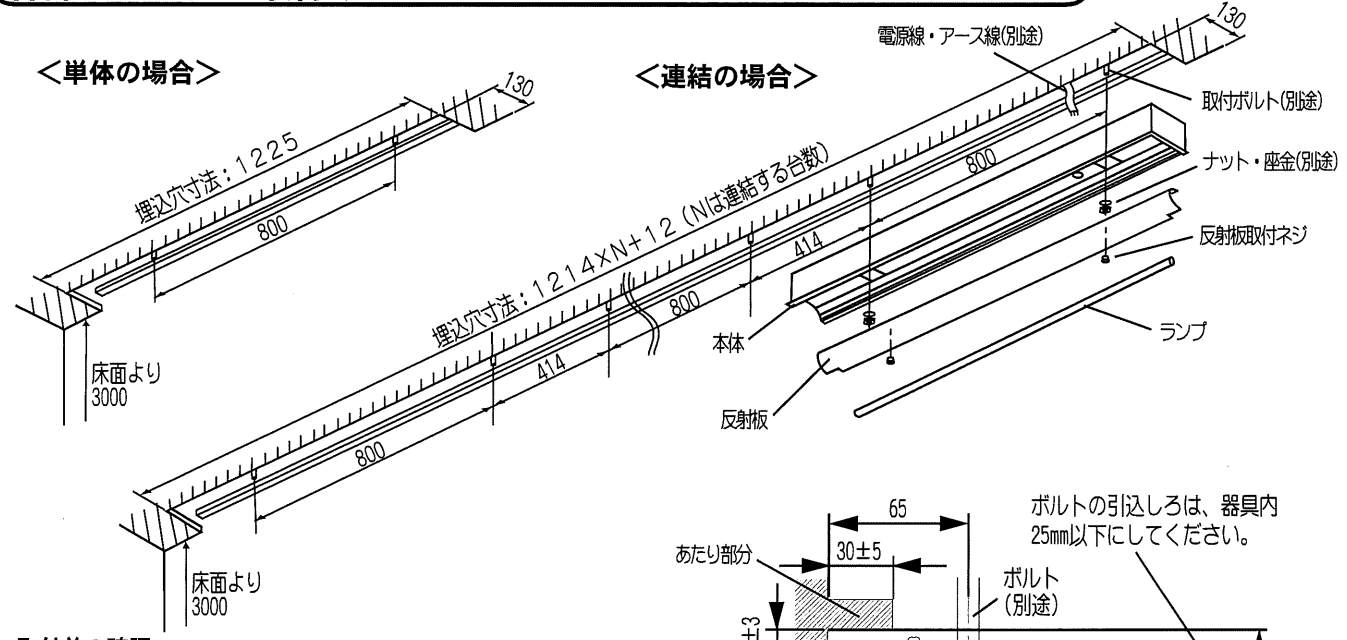
<単体の場合>

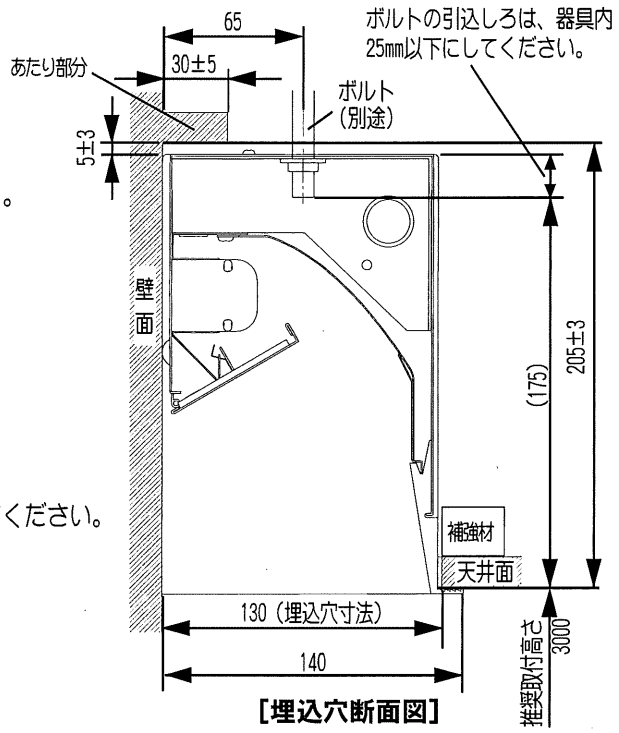


[器具背面図]



各部のなまえと取付けかた ⚠注意（必ず電源を切って行ってください。感電の原因となります。）





1．取付前の確認

器具質量(10kg)に耐えられるようボルト取付部の強度を確保する。
取付ボルトは、W3/8又はM10を使用する。
不備があると、落下の原因となります。
※壁面・天井面の仕上げに光沢がある場合や
推奨の取付位置（床から3000㎜）以外で取り付けた場合、
壁面にランプイメージが写りこむ原因となります。

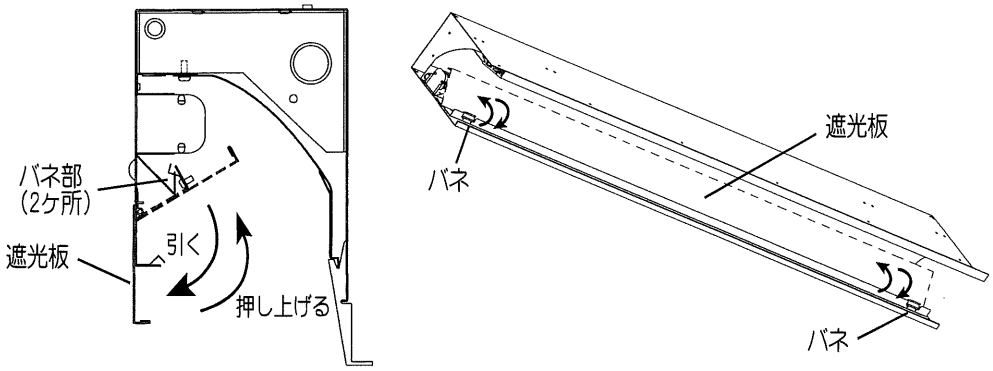
2．埋込穴の開口

埋込穴、取付ボルトを図のように用意しておく。
不備があると、落下・変形・破損の原因となります。
壁面には、器具天面のあたり部分を設け、天井開口部は補強してください。
不備があると、器具の傾きやすき間の原因となります。

3．反射板の取外し

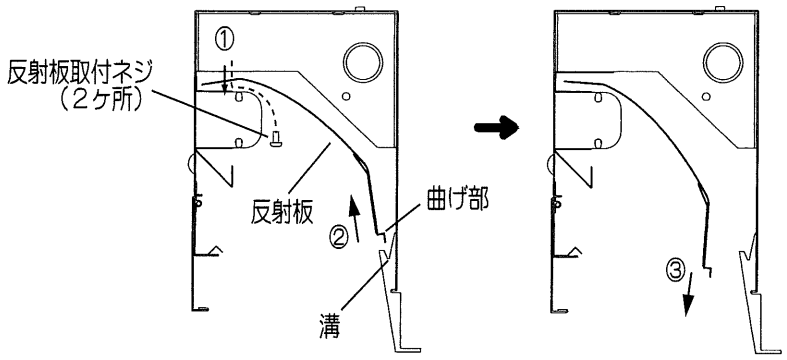
1. 遮光板のバネ部(2ケ所)を手前に引き、開ける。(図１参照)
2. 反射板取付ネジ(2ケ所)を外す。(図２参照)
3. 反射板を取り外す。

＜図１＞
遮光板の開閉



＜図２＞
反射板の取外し

①反射板取付ネジ（2ケ所）を外す。
②反射板を上側にずらし、
　曲げ部を溝から外す。
③反射板の曲げ部側から引き出す。



各部のなまえと取付けかた（続き）

4．器具の取付

（単体取付の場合）

1. 電源線・アース線を電源穴から引き込む。
2. 器具を埋込穴に押し込み、取付ボルトに確実に取り付ける。
   （推奨トルク：1.0N･m(10kgf･cm)）

（連結取付の場合）

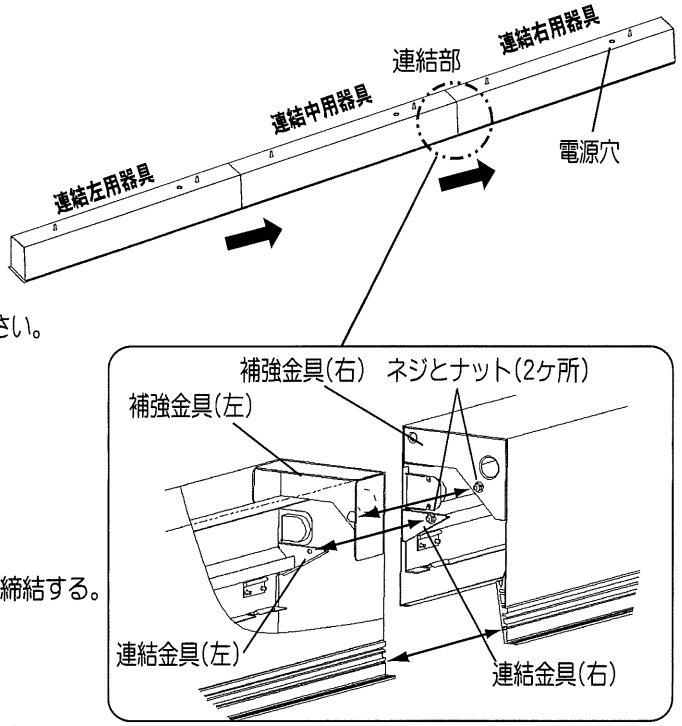
注）・連結右用器具から順に取り付けてください。

左側の器具を先に取付けると右側の器具が取り付かなくなります。

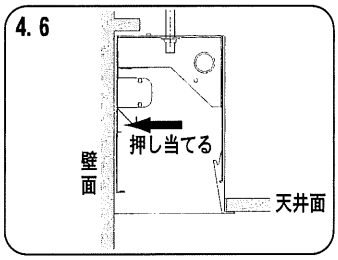
・全ての器具を仮固定し、連結部を調整してから完全に固定してください。

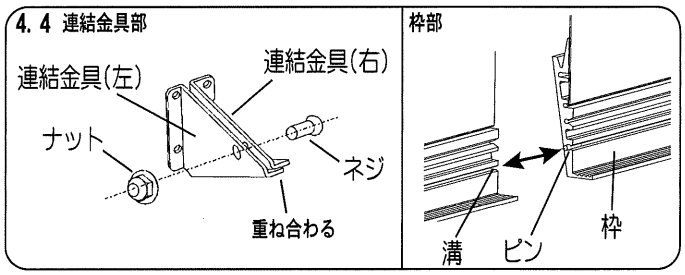
1台ずつ完全に固定すると連結できなくなります。

1. 連結金具(右)と補強金具(右)についているネジとナットを外す。
2. 電源線、アース線を電源穴から引き込む。
3. 器具を埋込穴に押し込み、取付ボルトに仮固定する。
4. 連結金具(右)に連結金具(左)を重ね合わせ、
   右側の枠のピンを、左側の枠の溝に差し込む。
5. 1.で外したネジで、連結金具(右)と(左)、補強金具(右)と(左)を締結する。
6. 全ての器具を、取付ボルトに確実に取り付ける。
   （推奨トルク：1.0N･m(10kgf･cm)）

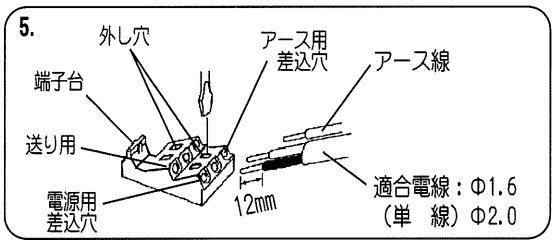


器具を壁に押し当てながら、取り付けると壁側の隙間が少なくなります。





締めすぎると器具・天井材が変形・破損したり、
遮光板が開閉しにくくなる場合があります。
不備があると、器具落下の原因となります。



5．電源線の接続

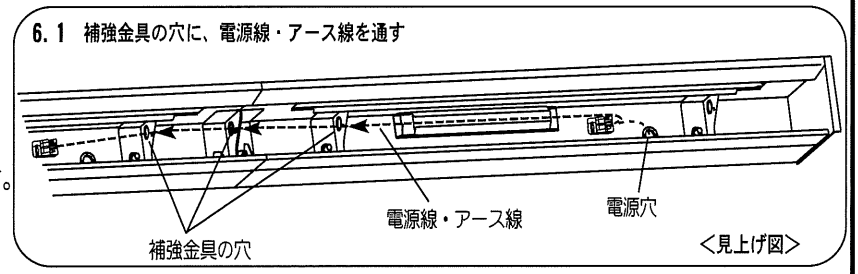
電源線・アース線を端子台に差し込む。
差し込み穴の奥まで確実に差し込む。

D種(第3種)接地工事が必要です。
不備があると、火災・感電の原因となります。

6．器具間の送り電線の接続（連結用のみ）

1. 電源線・アース線を補強金具の穴に順に通す。
2. 端子台の送り用及び、次の器具の端子台に差し込む。
   端子台の差し込み穴の奥まで確実に差し込む。

※送り電線容量は12Aです。

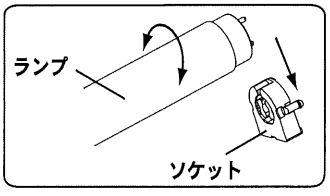


100Vで電源線を器具内送り配線する場合の連結台数は18台以下としてください。
（器具内送り配線をしない場合、および200Vでご使用の場合は、20台まで連結できます。）
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災・感電の原因となります。

7．反射板・ランプの取付

1. 反射板を外した時の逆の手順で取り付け、反射板取付ネジで固定する。（図2参照）
2. ランプをソケットに差し込む。
3. ランプを90度回転させ確実に取り付ける。
4. 遮光板のバネ部(2ケ所)を押し上げて遮光板を取り付ける。（図1参照）

取付に不備があると、火災・落下の原因となります。



取扱説明　**お客様へ、この説明書は必ず保管ください。**

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

●器具を改造しない。火災・感電・落下の原因となります。
●万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
そのままで使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠注意

●シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。
水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
●周囲温度は、5～35℃以内で使用してください。火災・ちらつき・短寿命の原因となります。
●器具を温度の高くなる物（ストーブ・ガスレンジ等）の近くや湿気の発生する場所では使用しないでください。火災の原因となります。
●照明器具には寿命があります。設置して10年※経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換を行なってください。※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。
●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
●1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
必要な場合は弊社営業所へお申し出ください。（チェックシート番号：ＣＬＸ２０２１ＢＡ）
点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

使用上のご注意

・この器具は自動初期照度補正機能付照明器具です。定格出力の約73%の光束を保つように設計されています。
・電源投入後から数秒後に調光状態（初期照度補正状態）となります。始動時の数秒間は明るさが異なりますが異常ではありません。
・ランプ交換は同一電源回路の器具全てまたは器具単位での交換をおすすめします。
・ランプや安定器のバラツキ、経年変化等により輝度差、色ムラが若干目立つことがありますが異常ではありません。
・ランプや器具の汚れについては補正しませんので、定期的な清掃をおすすめします。

累積点灯時間のリセットついて

この器具は、累積点灯時間を記憶しながら、点灯時間に応じた光束減退特性に基づいて、照度補正を行っています。
従って、新しいランプに交換される際、累積点灯時間をリセットする（累積点灯時間の記憶値をゼロにする）必要があります。

【ランプ寿命となった場合（自動リセットについて）】
この器具には、ランプ寿命を判断する機能が付いていますので、新しいランプへの交換と同時に自動的に累積点灯時間をリセットします。後述の手動リセットは不要です。

【ランプ破損等、寿命以外で交換される場合（手動リセットについて）】
手動によるリセット操作が正しく行われていれば、ランプ取付け後の電源投入10秒後に調光開始します。

<器具１台のみリセットする場合>
1）電源ＯＦＦ、古いランプを取外し
2）ランプ取外し状態で、次の動作を３回繰り返し
電源ON（1秒間）→ OFF（1秒間）
3）新しいランプを取付け、電源ON

<同一回路の器具と一斉にリセットする場合>
1）電源ＯＦＦ、全ての器具を新しいランプへ交換
2）ランプ装着状態で、次の動作を６回繰り返し
電源ON（1秒間）→ OFF（1秒間）
3）電源ON

・停電などによる電源遮断時も累積点灯時間は保持されますので、自動初期照度補正機能は電源再投入後も正しく動作します。
・周囲温度が約5～10℃で使用される場合、始動時に移動縞が発生することがありますが、数分で解消いたします。
・調光機器などとの組合せはできません。
・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
・照明器具2台以下で、ほたるスイッチと組合わせて使用する場合、手動リセットが動作しない場合がありますので、
スイッチは2箇所までとしてください。
・連結部の光ムラは、見る方向により変化します。特に多台数連結する場合は目立つことがあります。

保証について

・保証について・・・・・・・・・この商品の保証期間は1年間です。安定器は3年間です。
ランプなどの消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
・保証書について・・・・・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
・補修用性能部品について・・・弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・ランプ交換

・器具の清掃について・・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

・ランプの交換について・・・下記の指定されたパナソニック製蛍光灯を使用してください。

G-Hf蛍光ランプ	FHF63

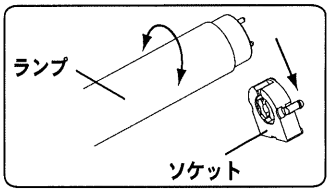
⚠注意

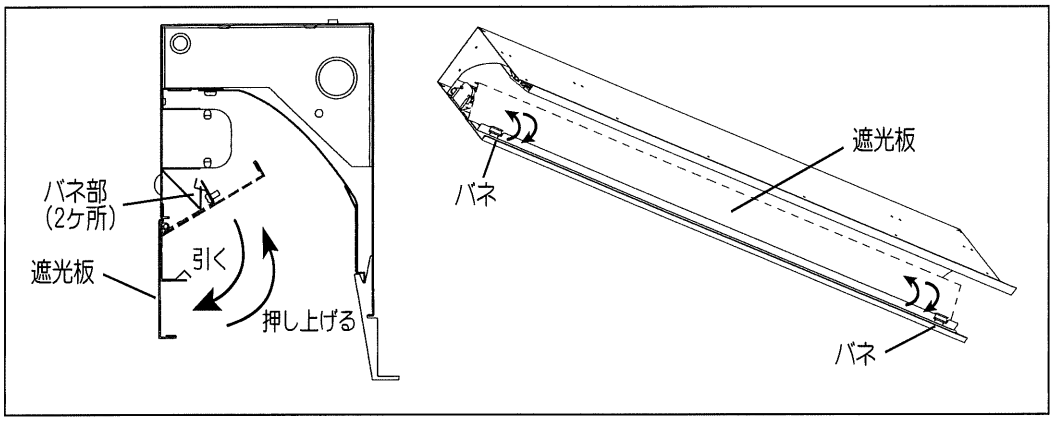
●感電のおそれあり
ランプ交換時は、必ず電源を切ってください
●やけどのおそれあり
点灯中や消灯直後はランプやその周りにさわらないこと

＜ランプ交換手順＞

1. 遮光板のバネ部(2ケ所)を手前に引き下げる。
2. ランプを90°回転させ、ランプを取り外す。
3. 新しいランプをソケットに差し込む。
4. ランプを90°回転させ確実に取り付ける。
5. 遮光板のバネ部(2ケ所)を押し上げて遮光板を取り付ける。

取付に不備がありますと、火災・落下の原因となります。





パナソニック株式会社　ライティング機器ビジネスユニット　〒571-8686 大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先　パナソニックお客様ご相談センター　0120-878-365（フリーダイヤル）　0120-878-236（FAX）

KE0609-010112